

① 以下の問題文の空欄 (1) (2) ～ (15) (16) に入る最も適切な語句を語群の中から選べ。また、空欄 A ・ B については、最も適切な語句を記せ。

『西洋の没落』の著者として知られるドイツの歴史哲学者シュペングラーは、一定の風土の下で人間集団が作り上げた技術や習慣の総体を「文化」とし、その風土を越えて広域に広がる組織と技術の複合を「文明」と呼んだ。このような見地から見ると、オリエント世界を統一して大帝國を築いたアケメネス朝のダレイオス1世が派遣した騎馬軍団を、アテネ市民による重装歩兵軍団が打ち破った前490年の (1) (2) は、オリエント「文明」とギリシア「文化」が衝突した一例といえるだろう。そのギリシア「文化」も、やがてアレクサンドロスの大遠征によってエーゲ海の風土を離れ、オリエントの伝統を吸収しつつヘレニズム「文明」に成長していった。この「文明」では、マケドニアの軍事的優位の下、彫刻をはじめとしたギリシアの芸術が遠く中央アジアにまで強い影響を及ぼした。それに対し、この「文明」世界に成立した諸国家が、いずれもオリエントの統治原理である (3) (4) によって統治されたことは興味深いことである。

ヘレニズム「文明」の遺産は、各地で受容され、その地域の伝統と融合して独自の発展をとげた。この「文明」の東端にあたる西北インドで、仏教信仰と接触したギリシア彫刻の技術が、ガンダーラ様式の仏像を生み出したことはよく知られている。同じ頃ガンジス川上流域の (5) (6) でも、仏像の制作が始まったが、これはより在地色の強いものであった。2世紀頃南インドで栄えた A 朝は、仏教やジャイナ教を保護するとともに、多くのバラモンを招いたため、北インドの「文化」がデカン高原以南にもたらされ、インド「文明」発展の礎となった。

一方、ヘレニズム世界の西方で拡大を続けていたローマは、模倣という形でヘレニズム「文明」の遺産を継承した。ギリシア式の劇場がローマの植民都市に次々に建設され、『対比列伝』で知られる (7) (8) のようなギリシア系の学者が活躍した。共和政の伝統を維持していたローマが、ヘレニズムの伝統を保持していた最後の王朝 (9) (10) 朝を征服した直後に、ローマ式の帝政つまり (11) (12) に移行するのは、おそらく偶然ではあるまい。(3) (4) と、元老院を基礎とする共和政の融合、ローマの帝政をこのように見ることも可能であろう。巨大な公共建造物と融合的な政治体制、さらに複雑な法体系を伴った新たなローマ「文明」は、帝國の発展とともに拡大し、北は (13) (14) にまでその影響が及ぶことになった。

西ヨーロッパでは、古代以来継承されてきた「文明」の伝統が断絶の危機を迎える。ゲルマン諸族の大移動である。彼らは西ローマ帝國各地に侵入して国家を建設し、教会や修道院を破壊して書物を焼き、ローマ帝國の政治組織を分断・破壊した。この危機に対し、西ヨーロッパを平定したカール大帝は、かつてローマの最北の辺境であった (13) (14) から学僧 B をアーヘンの宮廷に招き、書物の保存や (15) (16) 語教育の普及などローマ「文明」の保存につとめ、この危機を乗り越えた。

《語群》

- | | | | |
|------------------|------------------|-------------|----------------|
| 01. アヴァール | 02. アキタニア | 03. アジャンター | 04. アッバース |
| 05. アラビア | 06. アラム | 07. アルサケス | 08. アレクシオス 1 世 |
| 09. ウィリアム = オッカム | 10. ウマイヤ | 11. カッサンドロス | 12. カラ = ハン |
| 13. ガリア | 14. カンネーの戦い | 15. ギリシア | 16. クマン |
| 17. サラミスの海戦 | 18. ジギスメント | 19. 執政官制 | 20. シラクサ |
| 21. スワヒリ | 22. セナトゥス | 23. セレウコス | 24. 専制君主制 |
| 25. 大統領制 | 26. ダキア | 27. デーン | 28. ドミナトゥス |
| 29. ドラヴィダ | 30. ナポリ | 31. ナーランダー | 32. パータリプトラ |
| 33. バントゥー | 34. ヒンディー | 35. フィレンツェ | 36. フィン |
| 37. プトレマイオス | 38. プラタイアの戦い | | 39. プラノ = カルピニ |
| 40. ブリタニア | 41. プリンキパトゥス | | 42. プルタルコス |
| 43. ヘラクレイオス 1 世 | 44. ホラズム | 45. ボリス 1 世 | 46. ポリビオス |
| 47. マーチャーシュ 1 世 | 48. マトゥラー | 49. マラトンの戦い | 50. 民主制 |
| 51. モンテ = コルヴィノ | 52. ヤン = ソヴィエスキー | | |
| 53. ユスティニアヌス 1 世 | 54. ラテン | 55. リウィウス | 56. ルブルック |
| 57. レオン 3 世 | | | |